

令和4年度大学等卒業者の就職状況調査（令和5年4月1日現在）

1. 調査内容

1) 調査経緯・目的

大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校卒業者の就職の状況等について実態を把握し、就職問題に適切に対処するための参考資料を得るため、平成8年度より調査を実施。

2) 調査依頼先 設置者・地域の別等を考慮し、文部科学省・厚生労働省において抽出。

国立大学	21校	} 合計 112校
公立大学	3校	
私立大学	38校	
短期大学	20校	
高等専門学校	10校	
専修学校（専門課程）	20校	

3) 調査対象人員 6,250人

大学、短期大学、高等専門学校（※）	計 5,690人
専修学校（専門課程）	560人

（※）母集団の男女構成比から短期大学は女子学生のみ、高等専門学校は男子学生のみを抽出

4) 調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況等につき調査を実施する。

5) 調査時期及び

発表時期	調査時期	発表時期
令和4年	10月1日	11月18日
	12月1日	1月20日
令和5年	2月1日	3月17日
	4月1日	5月26日

2. 調査結果の主な概要

【全体の概要】

- 大学の就職率は、97.3%（前年同期比1.5ポイント上昇）。このうち国公立大学の就職率は97.4%（同1.3ポイント上昇）、私立大学は97.2%（同1.6ポイント上昇）。
- 短期大学の就職率は、98.1%（前年同期比0.3ポイント上昇）。
- 高等専門学校及び専修学校（専門課程）の就職率は、それぞれ99.2%（前年同期比0.1ポイント上昇）、95.7%（同1.0ポイント上昇）。
- 大学等（大学、短期大学、高等専門学校）を合わせた就職率は、97.5%（前年同期比1.4ポイント上昇）。専修学校（専門課程）を含めると97.3%（同1.3ポイント上昇）。

【男女別の概要】

- 男女別では、男子大学生の就職率は、97.3%（前年同期比2.7ポイント上昇）、女子は97.3%（同0.2ポイント上昇）。また、国公立大学では、男子：97.4%、女子：97.4%、私立大学では、男子：97.2%、女子：97.2%となっている。

【文系・理系別の概要】※大学のみ

- 文系・理系別では、文系の就職率は、97.1%（前年同期比1.7ポイント上昇）、理系の就職率は、98.1%（同0.7ポイント上昇）となっている。

【地域別の概要】※大学のみ

- 地域別では、中国・四国地区の就職率が最も高く、98.6%（前年同期比6.4ポイント上昇）となっている。